



野外活動は天候にも恵まれ、真夏を感じさせられるような太陽のもと、充実した3日間を過ごすことができました。スタンプは、各クラスのカラーがよく出た内容でした。自分を解放してのびのびと演じている姿を見て、こんな力があつたんだと、生徒たちの新たな一面を発見できた活動でした。2日目の登山は、「あなぐま」から始まり「ライオン」で終わる40のしりとり看板を目印に頑張りました。ツツジの一種で、五葉躑躅(ゴヨウツツジ)とも呼ばれるシロヤシオが満開で、こんな年は珍しいとガイドの方が話していました。途中で諦めることなく仲間と支え合い、声を掛け合いながら全員が石子展望台まで登り、無事自然の家までの道のりを歩ききったことは、生徒たちの諦めない力が十分発揮できたからです。苦しいな、きついなと感じた場面はたくさんあったと思いますが、ゆっくりでも一步一步進んでいけば、必ず目標は達成できる、頑張った先には見たことのない景色が広がっているということを感じられたと思います。



野外活動を振り返って

- ★新しい環境でどうすればいいかわからなくなった場面も多くあつたが、クラス関係なく学年で協力して教え合い解決することができた。館内でも自分から挨拶することができた。普段の生活で当たり前にするのを改めて見直すことができた。
- ★班や周りの友達とコミュニケーションをとりながら活動した。協力する活動が多くあり皆で工夫して考えて実行し、学年の団結力が高まったと思う。普段できないような体験を通して、学年全体がさらに成長できたと思う。
- ★一日目の反省を生かし、二日目は周りに迷惑をかけないように生活することができた。自然と触れ合える活動をして、今までとは違う生活がとても新鮮で面白かった。
- ★お風呂や食事は時間を見ながら自分たちで考えて動くことができた。野外活動での良かった点はこれからの学校生活で活かしていきたい。登山は、友達と「もう帰りたい」と言いつつも最後まで登り切れたことは大きな達成感につながった。頂上で食べたおにぎりはとてもおいしかった。
- ★お風呂の後始末や、食事のテーブルの片付けなど、普段家ではやらないことを学ぶことができた。家では誰かがやってくれるからと甘えていたことに気付くこともできた。野外炊飯は、電気やガスを使わずに作ることができるか不安だったが、おいしいカレーが完成した。一人ではできなくても、それぞれが得意なことを生かすと何でもできるんだと思った。チームワークってこういうことかなと思った。

